【農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業】 第一段階整備事業 地域再生推進法人 株式会社 E M研究機構



事業概要

再生可能エネルギーを活用する為に、中核となるビオサイクルセンターにバイオガス発電設備・バイオスティミラント製造設備・微生物培養設備などをパッケージで整備し、ICT太陽光型水耕栽培施設・学童農園・圃場なども整備する。北中城村においては農業が基幹産業である一方で、後継者不足・耕作放棄地が深刻化しており、本事業で整備する水耕栽培施設・圃場等で農業を中心とした担い手・新規就農者の育成に向けた取組を行うとともに、視察受入や学童農園などで地域交流・関係人口創出の機会への貢献を図り、低炭素社会実現に向けて必要となる技術を他地域へと横展開する。

施設概要		(2023年1月計画時)
名称	規模	内容
●ビオサイクルセンター	600 m²	4つの設備がパッケージで稼働する一体型施設
併設:バイオガス発電設備	100 m²	食品残差を活用したメタン発酵による発電設備
併設:バイオスティミラント製造設備	4 0 0 m²	有機農業に必要な農業資材の製造設備
併設:管理事務所	4 0 m²	集中管理室及び事務所
❷ ICT太陽光型水耕栽培施設	2 2 0 m²	発電した電力を活用した最先端園芸施設
❸ 学童農園	150 m²	児童生徒が安心・安全に有機農業を学べる農園
④ ビオスクエア	100 m²	来訪者向けの休憩・交流ができるテラスなど
⑤ 有機農業圃場	900 m²	事業で製造された農業資材を活用した有機農園
6 駐車場	3 0 0 m ²	来訪者及び従業員、施設車両用の駐車場

整備スケジュー	ル				(2022年6月時点)
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
事前調整					
調査設計					
設備製造					
建築工事	1				
試験運用	1				◆4月1日 事業開始

整備概要	(2022年6月時点)
事業名称	北中城村 農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業
事業場所	沖縄県中頭郡北中城村字荻道前原
事業面積	(計画) 約5,485㎡ (約1,660坪)
事業費	(計画) 5億6千3百万円
交付金	内閣府沖縄振興特定事業推進補助金
事業者	地域再生推進法人 株式会社 E M研究機構
設計	有限会社 アトリエ・門口
施工	福山建設 株式会社

【配置計画】なだらかな斜面を活かし周辺環境と調和する配置計画

計画敷地は木々が生い茂るなだらかな斜面となっており、自然環境に配慮するために雛壇状の建築配置を計画

